

2022 屏東大學外語教育與文化研討會

(徵稿延期通知)

徵稿啟事

主辦單位：國立屏東大學應用日語學系

協辦單位：國立屏東大學人文社會學院、應用英語學系、英語學系

會議地點：屏東市民生東路 51 號（國立屏東大學屏商校區）

會議時間：中華民國 111 年 11 月 18 日（星期五）

會議主題：本次研討會包含英日語文領域各方面重要議題

(一)英日語教學、教材與教法的研究與多媒體教學

(二)英日語言學類研究

(三)歐美日文學類研究

全文截稿日期延至：111 年 07 月 31 日(星期日)

寄出接受通知：111 年 09 月 05 日(星期一)

研討會日期：111 年 11 月 18 日(星期五)

※ 本次研討會為全文審稿，請務必於限期內

以全文(包含英或日文摘要)連同「投稿者基本資料表」

(可於本系網站「研討會訊息」內下載)寄達。

發表形式(中英日文皆可)

視題目性質採論文發表或著重實際教學技巧的工作坊(workshop)及教學演示。

1. 論文口頭發表：時間 20 分鐘、問題討論 10 分鐘。
2. 工作坊或演示：時間 45 分鐘、問題討論 15 分鐘。

論文格式

1. 請依據論文性質以 APA（教育或教學類）、LSA（語言學類）或 MLA（文學類）格式書寫。
2. 請以電腦打字，字元 12 號，單行間距，頁數限制 20 頁以內，並以 WORD 形式存檔。
3. 以電子郵件方式寄至 daj@mail.nptu.edu.tw；主旨請註明「2022 屏東大學外語教育與文化研討會論文投稿」。

主辦人：簡光明博士；聯絡人：王玉櫻小姐

聯絡電話：(08)7663800 轉 35901

傳 真：(08)7215316

E-mail：daj@mail.nptu.edu.tw

本系網站：<https://daj.nptu.edu.tw>

2022NPTU Conference on Foreign Language Education and Culture

Deadline Extended

(CALL FOR PAPERS)

Conference Organizer: Department of Applied Japanese, National Pingtung University

Conference Venue: National Pingtung University, No.51, Minsheng E. Rd., Pingtung City, 900392
Taiwan

Conference Date: November 18, 2022 (Friday)

Topics:

1. English / Japanese teaching, materials, pedagogies and multimedia instruction
2. English / Japanese Linguistic studies
3. American / European / Japanese Literature

Full text deadline extended to: July 31, 2022 (Sunday)

Notification of acceptance: September 5, 2022 (Monday)

Conference date: November 18, 2022 (Friday)

※ Please submit your full paper (including the English or Japanese abstract) along with the form of Author Profile by the deadline.

The form is available for download on the Department of Applied Japanese website:
(<https://daj.nptu.edu.tw>)

Types of presentation

A. Paper Oral Presentation

20 minutes for presentation; 10 minutes for discussion

B. Workshop or Demonstration

45 minutes for workshop or demonstration; 15 minutes for discussion

Submission details:

Paper format: APA (education or teaching), LSA (linguistics) or MLA (literature). Font: Times New Roman 12; Spacing: Single space. Papers should be no longer than 20 pages and saved by WORD format. Paper submission by email to: daj@mail.nptu.edu.tw with the title of **Paper for 2022 NPTU Conference**.

Organizer: Dr. Kuang-Ming Chien ; Contact person: Ms. Yu-Ying Wang

Tel: (08)7663800 ext.35901

Fax: (08)7215316

E-mail : daj@mail.nptu.edu.tw

Website: <https://daj.nptu.edu.tw>

2022 屏東大学外国語教育文化シンポジウム

発表要領

主 催：屏東大学応用日本語学科

共 催：屏東大学人文社会学院、応用英語学科、英語学科

場 所：屏東市民生東路 51 号（国立屏東大学屏商キャンパス）

期 日：2022 年 11 月 18 日（金）

発表分野：以下の英語・日本語分野における重要性を有したテーマを募集します。

- (1) 英語教育／日本語教育／教材開発／教授法／マルチメディア教育
- (2) 英語学／日本語学
- (3) 欧米文学／日本文学

原稿送付締切り延長：2022 年 07 月 31 日（日）

採 択 通 知：2022 年 09 月 05 日（月）

大 会 期 日：2022 年 11 月 18 日（金）

※査読は予稿集の原稿全文を対象とします。英語または日本語の要旨を含む原稿全文を、「応募者情報シート（屏東大学語学科ホームページ「研討會訊息」からダウンロード可）」とともに、締切日必着で、件名を「2022 屏東大学外語教育与文化研討會論文投稿」として、daj@mail.nptu.edu.tw まで電子メールにて送付してください。

発表形態および使用言語

発表形態は、テーマに応じて次のいずれかとなります。

1. 口頭発表（発表：20 分／質疑応答：10 分）
2. ワークショップまたは授業実演（時間：45 分／質疑応答：15 分）

使用言語は、日本語・英語・中国語のいずれかとなります。

投稿原稿の書式

1. 書式

- ・ word で作成し，図表を含め，20 ページ以内に収まるようにしてください。
- ・ 「A4 横書き，40 字×39 行」で作成し，余白は用紙の上下に各 3.17cm，左右に各 2.54cm の余白をとってください。
- ・ 論文タイトルはゴシック 14pt（太字，中央揃え），著者名・役職・所属はゴシック 12pt，（太字，中央揃え），各章の見出しはゴシック 10.5 pt，本文（英数字含む）はMS 明朝，または Jpn Mincho10.5pt としてください。要旨，キーワード，注，図表の文字，参考文献，資料は MS 明朝，または Jpn Mincho10pt としてください。
- ・ 句読点は，「，」，「。」で統一してください。
- ・ 外国語が入る場合には，MingLiU（中国語），Times New Roman（英語）を使ってください。
- ・ 中国語の英文表記はウェード式(Wade-Giles)，またはローマ拼音(Hanyu pinyin)方式を使ってください。

2. 要旨

- ・ 要旨とキーワードは，著者名・役職・所属と要旨との間，要旨とキーワードとの間，キーワードと本文との間を，それぞれ 1 行空けてください。
- ・ 論文の最終ページ（参考文献の後）に，論文タイトル・著者名・役職・所属を含め，英語または中国語の要旨を付けてください。
- ・ キーワードは 4～6 語を，次のようにつけてください。例（キーワード：受動文，格助詞…）
- ・ 要旨とキーワードは，使用言語を問わず，合わせて 1 ページを超えないように作成してください。

3. 本文

- ・ 段落は，始めは 1 字空け，両端揃えとし，段落間には空白行を置かないでください。
- ・ 3 行以上の引用は，4 文字分空けて独立段落としてください。また，上下 1 行空けてください。
- ・ 文献，新聞，各種文書，芸術作品（映画，演劇，楽曲，彫刻など）の名称には『 』（二重括弧）を用い，英文の場合はイタリックにしてください。
- ・ 論文，短曲，章名などには，「 」(括弧)を用い，英文の場合には“double quotation marks”を用いてください。
- ・ 括弧が重なった場合には，『「銀河鉄道の夜」とは何か』「与謝野晶子『君死にたまふことなかれ』をめぐって』のように，最も外側の括弧を優先してください。
- ・ 本文に日本語に翻訳した語を使う場合，その語の直後に（ ）で「和訳(原文)」のように，原文を表記してください。

- ・ ページ数は、ページ下中央に記載してください。
4. 各章の見出し
 - ・ アラビア数字の 1. 2. 3. …… (下位分類は, 1.1. 1.2. 1.3. 2.1. 2.2. ……) を使ってください。
 5. 脚注
 - ・ 当該ページの下に、脚注として記入してください。
 6. 参考文献・資料
 - ・ 本文の最後に、章番号をつけずに参考文献という見出しをつけ、資料を載せる場合は、参考文献の後に、資料という見出しをつけてください。
 - ・ 参考文献は、同じ言語ごとにそれぞれまとめて、日本語文献、中国語文献、英語文献の順に記載してください。
 - ・ 英語文献は、論文のテーマによって、APA スタイル、LSA スタイルまたは MLA スタイルを用いてください。
 - ・ 日本語文献は第一著者の姓の五十音順、中国語文献は第一著者の姓の画数順に配列し、それぞれの記載は、以下の例にしたがってください。

青空文庫<<https://www.aozora.gr.jp/>> (2020年11月20日)

佐藤喜代治 (編) (1977) 『国語学研究事典』 明治書院

砂川有里子 (1987) 「複合助詞について」 『日本語教育』 62, pp. 42-55.

高橋太郎・金子尚一・金田章宏・齋美智子・鈴木泰・須田淳一・松本泰丈 (2005) 『日本語の文法』 ひつじ書房

松見法男 (2002) 「第二言語の語彙を習得する」 海保博之・柏崎秀子 (編) 『日本語教育のための心理学』 第6章, 新曜社, pp. 97-110.

王天昌 (1976) 〈音位理論與漢語語音系統之分析〉 《東海學報》 17 : 93-107.

洪惟仁 (1994) 〈小川尚義與高本漢漢語語音研究之比較〉 《台灣史研究》 1-2 : 26-84.

黃宣範 (1995) 《語言、社會與族群意識》 文鶴出版有限公司 台北

主 催 者 : 簡光明

大 会 担 当 : 王玉櫻

電 話 番 号 : +886-8-766-3800#35901

フ ァ ッ ク ス 番 号 : +886-8-721-5316

E - m a i l : daj@mail.nptu.edu.tw

学 科 ホ ー ム ペ ー ジ : <https://daj.nptu.edu.tw>